

平成26年度 第14回東日本高校弓道大会県予選会要項

- 1 主催 群馬県高等学校体育連盟弓道競技専門部
 2 後援 群馬県弓道連盟
 3 日時 女子：平成26年11月22日（土）8:20～8:40 受付(選手・顧問) 8:40顧問会議 9:00開会式
 男子：平成26年11月23日（日）8:20～8:40 受付(選手・顧問) 8:40顧問会議 9:00開会式
 ＊係職員・当番校は8時に集合し準備に当たること。
- 4 会場 ぐんま武道館弓道場(遠) 前橋市関根町800
 5 種目 団体戦：男女とも各校2チーム以内（各チーム正選手3、補欠1）
 個人戦：団体出場者
 ＊補欠戦実施しない
- 6 競技方法 3人立 立射 男女とも4射場
 団体戦—予選：1チーム24射（各自8射）を行い、上位16チームを通過とする。
 決勝：1チーム12射（各自4射）のトーナメント方式とする。
 →同中の場合は1本競射を行い、勝敗を決定する。競射の1本目は予備矢を使用する。
 →5～8位決定戦のみ1チーム6射（各自2射）とする。
 ＊決勝トーナメントの組み合わせは的中順とし、同中の場合は立順の早いチームを上位とする。
 ＊競射による決勝進出チームが複数ある場合も、立順の早いチームを上位とする。
 個人戦—団体戦予選に於ける各個人の成績で、的中数により順位を決定する。
 ＊個人戦の射詰競射において、4連続的中後は8寸的を使用する。
 ＊選手は1年生と2年生とし、3年生に出場資格はない。
- ・3人立・立射・団体に限り時間制限をおこなう。
 （5分30秒で予鈴、6分で本鈴、ベルと同時に発射は失格）
 ・進行の「起立・始め」の号令は矢取り終了後にかける。
 （個人戦は一番遅い射手の弦音で号令をかける）
 ・弦切れの場合、介添えが弓を張る（申し出があった場合は進行が張る）
 ・試合を中断する場合、「次の打起しを待て」と号令をかける。
 （取懸けを始めている選手は行射を続けさせ、時計は声をかけた時点でストップし、「始め」の号令で再スタートする）平成19年4月より適用 平成24年改訂 平成25年改訂 平成26年改訂
- 7 代表権 団体戦に於ける上位2校に与えられる。千葉県千葉市で3月28～29日に本大会実施。（3月27日監督会議）
 ＊団体戦1・2位をとっても代表権は1校1つとする。（男女は別）
 ＊代表権は団体戦のみで、個人戦にはない。
 ＊本大会に5人エントリーできない学校は、5人立ちの代表権は得られない。
 →上記の場合、代表権は5人立ちのみ下位より繰り上がる。
 ＊申し込み時点において団体が既定の人数（3人立ちは2人以上、5人立ちは3人以上）を満たさない場合は、上位大会への団体代表権は認められない。（全国高等学校体育連盟弓道競技規則による）
 →上位大会への代表権が認められなくても表彰、参加料などにおいては団体扱いとする。
- 8 表彰 男女とも
 団体1位 優勝カップ（持回り）、楯、賞状（前年度優勝校には、レプリカ贈呈）
 団体2位～3位まで楯、賞状
 団体4位 賞状
 個人1位～5位までトロフィー、賞状
 ＊昨年度団体優勝校「男子・高北」「女子・市前橋」はカップの返還を返還する。
- 9 参加料 1校1,500円（当日受付に払込むこと）
 10 参加申込 申込書に入力の上、11月13日（木）16:00（期限厳守）必着で下記宛メールしてください。
 申込先 高体連弓道専門部 MAIL gunkyumi@yahoo.co.jp
 ＊プロ編成は11月18日（火）13:30より前橋西高校に於いて本部役員・地区常任理事により実施する。
- 11 注意事項 ①ゼッケンを必ず持参し、立ち順番号に合わせて右腰前につけること。
 ②引率顧問不在の場合は選手の参加は認めない。
 ③選手の交代は2回（予選・決勝を含む）認める。第3控えに入るまでに所定の用紙に記入し、監督より届け出ること。
 ④試合順序は、
 →団体予選1回戦、2回戦
 →決勝進出16チームが決定しない場合は競射
 →個人の順位決定（優勝は射詰、2位以下は遠近）
 →団体決勝トーナメント1回戦（1チーム12射・各自4射）
 →団体決勝トーナメント2回戦（1チーム12射・各自4射）
 →5～8位決定戦（1チーム6射・各自2射）
 →準決勝（1チーム12射・各自4射）
 →3位決定（1チーム12射・各自4射）・決勝戦（1チーム12射・各自4射）
 ⑤顧問の昼食については、当日受付で各自申し込む。
 ⑥会場での飲食等ででたゴミは必ず持ち帰ること。
 ⑦弓具には記名しておくこと。
 ⑧服装・弓道着(白)袴、白足袋(ゴム底使用禁止)・制服または学校指定体操着、白靴下
 ⑨貴重品の管理は各自で行うこと。
 ⑩第3控え後の通路での応援は禁止する。観客席では私語は慎むこと。
 ⑪大会当番は準備・仕事・片付けについて責任を持って遂行すること。
 ⑫追い越し発射は追い越した矢を無効とする。

備考 「取懸け」とは…（早矢は取矢終了後）腰から手が離れた時点から取懸けが始まったとみなされる。
 「打起し」とは…膝から弓が離れた時点から打起しが始まったとみなされる。